

図1 渋川市の警戒レベルと住民がとるべき行動、防災気象情報

| 警戒レベル                      | 状況               | 住民がとるべき行動          | 避難情報等            | 防災気象情報（警戒レベル相当情報）     |                  |
|----------------------------|------------------|--------------------|------------------|-----------------------|------------------|
|                            |                  |                    |                  | 浸水の情報(河川)             | 土砂災害の情報(雨)       |
| 5                          | 災害発生又は切迫         | 命の危険<br>直ちに安全確保！   | 緊急安全確保           | 5相当<br>氾濫発生情報         | 大雨特別警報<br>(土砂災害) |
| ~~~~~＜警戒レベル4までに必ず避難！＞~~~~~ |                  |                    |                  |                       |                  |
| 4                          | 災害のおそれ高い         | 危険な場所から<br>全員避難    | 避難指示             | 4相当<br>氾濫危険情報         | 土砂災害<br>警戒情報     |
| 3                          | 災害のおそれあり         | 危険な場所から<br>高齢者等は避難 | 自主避難<br>(高齢者等避難) | 3相当<br>氾濫警戒情報<br>洪水警報 | 大雨警報             |
| 2                          | 気象状況悪化           | 自らの避難<br>行動を確認     | 大雨注意報<br>洪水注意報   | 2相当<br>氾濫注意情報         | -                |
| 1                          | 今後気象状況<br>悪化のおそれ | 災害への<br>心構えを高める    | 早期注意情報           | 1相当<br>-              | -                |

## 警戒レベル別の避難行動を

市は、気象庁の防災情報を基に、「洪水」や「土砂災害」などの災害が発生する恐れがある場合、避難するための時間に配慮し、地域の状況に応じて総合的に判断を行い、避難情報を発令します。

警戒レベル別の市民の皆さんがとるべき行動などは、左図のとおりです。警戒レベル3または4で避難してください。

台風などの進行型の災害は、その進路や勢力などが事前に分かることから、市は、市民の皆さんに災害への備えをしてもらうため、早めに避難指示などを発令します。

|                                                                     |                                                             |                                                            |
|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。<br><b>警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！</b> | 避難勧告は廃止されます。<br>これからは、 <b>警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難</b> しましょう。 | 避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、 <b>警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難</b> しましょう。 |
|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|

**ゲリラ豪雨への対処について**

突然的かつ局地的に発生する短時間強雨(ゲリラ豪雨)の発生範囲、継続時間、雨量を高い精度で予測することは、現在の技術ではできません。1時間に50mmを超えるゲリラ豪雨が数時間続くと、道路が川のようになります。このような場合、市が警戒レベル4避難指示を発令して、市民の皆さんに避難を促します。しかし、外に出て移動を始めることによって、かえって大きな危険に遭うと判断した場合は、避難情報の発令を見合わせるか、もしくは警戒レベル5緊急安全確保を発令します。

避難する際には、周囲の状況を確認し、外に出るのが危険な場合は、建物の2階以上や崖の反対側の少しでも安全な場所に身を寄せ、命が助かる可能性の高い行動をとります。

突発的かつ局地的に発生する短時間強雨(ゲリラ豪雨)の発生範囲、継続時間、雨量を高い精度で予測することは、現在の技術ではできません。1時間に50mmを超えるゲリラ豪雨が数時間続くと、道路が川のようになります。このような場合、市が警戒レベル4避難指示を発令して、市民の皆さんに避難を促します。しかし、外に出て移動を始めることによって、かえって大きな危険に遭うと判断した場合は、避難情報の発令を見合わせるか、もしくは警戒レベル5緊急安全確保を発令します。

**災害を想定した実動訓練を10月6日(日)に行います**

市は、実際に災害が発生した状況を想定した実動訓練を行います。

とき 10月6日(日)午前9時30分～午後0時30分

災害想定 台風接近による風水害を想定

訓練内容(ところ)

- ①災害対策本部設置運営訓練(本庁舎)
- ②現地災害対策本部設置訓練(子持公民館)
- ③避難所開設運営訓練(金島小学校、中郷小学校、長尾小学校) ※午前10時30分から右の3校に避難所を開設する予定です。各学校の近隣住民や訓練に参加できる人は、避難者役として参加してください

問合せ先 **本危機管理室** ☎2130  
ホームページID 11612

市は、実際に災害が発生した状況を想定した実動訓練を行います。

とき 10月6日(日)午前9時30分～午後0時30分

災害想定 台風接近による風水害を想定

訓練内容(ところ)

- ①災害対策本部設置運営訓練(本庁舎)
- ②現地災害対策本部設置訓練(子持公民館)
- ③避難所開設運営訓練(金島小学校、中郷小学校、長尾小学校) ※午前10時30分から右の3校に避難所を開設する予定です。各学校の近隣住民や訓練に参加できる人は、避難者役として参加してください

問合せ先 **本危機管理室** ☎2130  
ホームページID 11612

9月1日は防災の日

# 台風・豪雨の発生シーズンが到来！ 自然災害から命を守る 行動を考えましょう

9月1日は、地震や風水害などに対する心構えを育成する「防災の日」です。

そして、今月は、本格的な台風シーズンでもあります。自然災害から自分の命と大切な人を守るために、災害についての認識を深め、災害時の情報収集手段や行動計画について再確認しましょう。

ホームページID 11618  
詳しくは、**本危機管理室** ☎2130へ。

台風の影響により増水した利根川(宮田橋)の様子

## 災害発生時は正しい情報を

災害発生時には、正しい情報に基づき、落ち着いて行動することが大切です。

市は、災害が発生した場合や発生する恐れがある場合に、住民の皆さんに避難情報などを防災行政無線でお知らせします。

防災行政無線が聞き取れなかった場合には、放送の内容を電話(0800-800-7373)で確認することができます。

また、防災行政無線のほか、携帯電話に災害情報を発信する「渋川ほっとメール」、「市公式X(旧Twitter)」、「市公式LINE」などでも情報発信します。

災害時の情報収集は  
こちらの2次元コードから



## 災害から身を守るために

近年の地球温暖化の影響を受け、全国各地で大雨による災害が起きています。被災した人々はそろって「まさか、自分がこんなことに…」と口にします。

この「まさか」が、いつか必ず渋川市にも襲ってきます。その時に備えて、災害を「他人事」ではない「自分事」としてとらえ、「自らの命は自らが守る」ための取り組みが、市内の自治会単位で始まっています。各自治会で、自分の住

んでいる地域のリスクを見つめ直し、自然災害から命を守るための自分たちができる対策を検討しています。

「避難」とは「難」を「避ける」ことです。警戒レベル4避難指示が発令された時は、危険な場所にいる人は全員避難することが原則です。避難先は、指定緊急避難場所や公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも選択肢の一つです。一方で、安全な場所にいる人は避難所など

に行く必要はありません。いざ災害が起きそうな時に備えて、命を守るための避難のタイミングや避難する場所などについて、ハザードマップで事前に確認しておくことが大切です。

